

# 福島経済マンスリー

1月の県内経済は、一部に弱い動きがみられるものの、全体では持ち直しの動きが続いている。

## 1. 平成28年1月の県内経済

項目	コメント	景況判断	
		変化方向	水準
県内経済の景況	県内経済は、生産活動に弱い動きがみられるものの、全体では持ち直しの動きが続いている。		
消費動向	大型小売店販売額は、合計では10ヵ月連続して前年比で増加した。一方、新車登録台数は、22ヵ月ぶりで前年を上回った。		
公共投資	公共工事前払保証取扱は、件数が2ヵ月連続で前年を下回ったものの、請負金額、保証金額が2ヵ月ぶりでいずれも前年を上回った。		
設備投資	民間・非居住用建築着工は、棟数が2ヵ月ぶり、床面積と工事費予定額が2ヵ月連続でいずれも前年を上回った。		
住宅投資	新設住宅着工戸数は2ヵ月連続で前年を上回った。内訳をみると、持家が3ヵ月連続で前年を下回ったが、分譲が5ヵ月連続、貸家が2ヵ月連続でそれぞれ前年を上回った。		
生産活動	鉱工業生産指数は、前月比が3ヵ月ぶり、前年比が2ヵ月ぶりでそれぞれ下降した。業種別の前月比をみると、6業種で上昇し、13業種で下降した。		
雇用動向	有効求人倍率は、季節調整値が前月を0.02ポイント下回り、原数値が前年を0.04ポイント下回った。一方、雇用保険受給者実人員は前年と変わらなかった。		

注：「変化方向」は前月と比較した現在における景況の変化方向（：改善、：不変、：悪化）、「水準」は現在における景況の水準をそれぞれ示す。「変化方向」は当月と前月における3ヵ月加重移動平均の前年同期比の比較、「水準」は当月の3ヵ月加重移動平均値と過去5年間の平均値の比較により、それぞれ判断している。ただし、「変化方向」が改善または悪化の場合でも、「水準」が変わらない場合もある。したがって、足元の動向を示す「コメント」と「景況判断」は異なる場合もある。なお、公共投資および設備投資は6ヵ月加重移動平均値による判断、民間・非居住用建築着工および鉱工業生産指数は12月データ。

〈天気図（水準）の意味〉

晴れ	晴れ一部曇り	曇り	曇り一部雨	雨

良
い
悪
い

## 2. 県内経済動向の概要

### (1) 前年同月比

(単位：%)

	項 目	前 年 同 月 比					
		27年8月	9 月	10 月	11 月	12 月	28年1月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	2.6	2.6	4.1	1.9	2.2	4.2
	乗用車新車登録台数	△ 4.3	△ 11.2	△ 6.2	△ 6.4	△ 14.3	11.0
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	△ 22.9	△ 34.5	△ 8.0	73.7	△ 42.6	44.2
設備投資	建設着工工事費予定額（民間・非居住用）	24.6	21.2	△ 6.7	77.9	1.5	—
住宅投資	新設住宅着工戸数	20.1	33.4	23.4	△ 8.3	3.5	39.3
生産活動	鉱工業生産指数（総合） <sup>注1</sup>	△ 3.9	△ 8.3	△ 5.0	0.0	△ 6.8	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む） <sup>注1</sup>	0.04	0.02	△ 0.06	0.21	△ 0.05	△ 0.04
	雇用保険受給者実人員	0.1	△ 1.5	△ 1.4	3.5	△ 1.1	0.0

注1 原指数

### (2) 前月比

(単位：%)

	項 目	前 月 比					
		27年8月	9 月	10 月	11 月	12 月	28年1月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	5.0	△ 10.5	5.9	△ 0.01	26.20	△ 17.0
	乗用車新車登録台数	△ 19.1	44.2	23.6	4.7	△ 13.0	25.5
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	△ 10.0	△ 14.7	18.5	△ 17.9	△ 20.8	29.8
設備投資	建設着工工事費予定額（民間・非居住用）	△ 2.3	30.4	109.0	△ 38.7	△ 25.2	—
住宅投資	新設住宅着工戸数	△ 6.3	6.1	10.1	△ 15.3	21.7	△ 23.2
生産活動	鉱工業生産指数（総合） <sup>注2</sup>	0.3	△ 4.1	3.0	0.3	△ 2.8	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む） <sup>注2</sup>	0.00	△ 0.02	△ 0.04	0.01	0.04	△ 0.02
	雇用保険受給者実人員	△ 0.6	△ 2.6	△ 9.2	△ 5.7	△ 1.7	△ 1.5

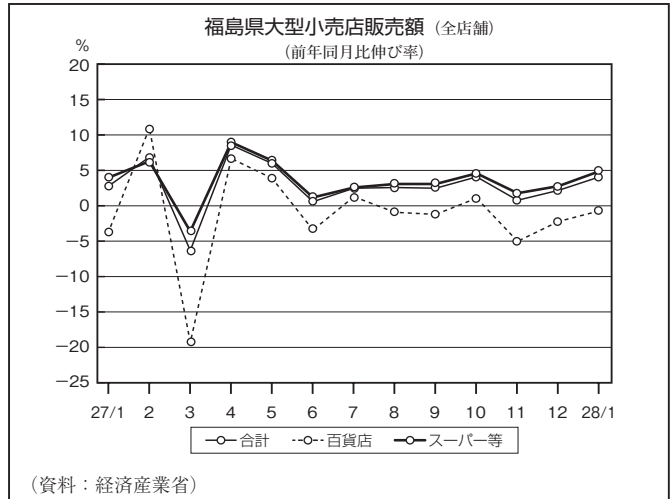
注2 季節調整値

### 3. 県内経済動向

#### 消費動向

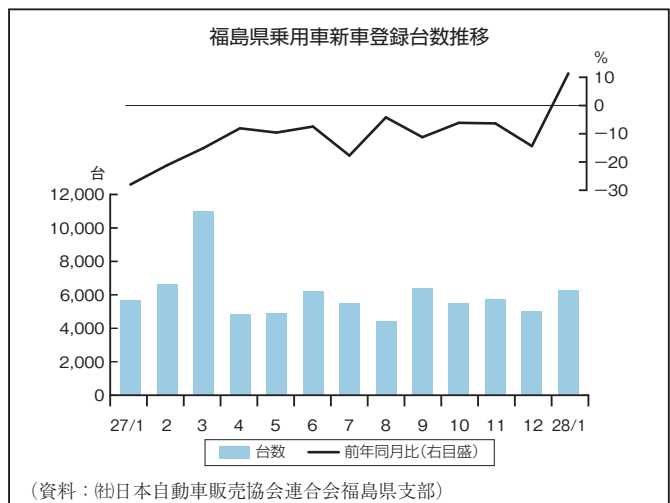
##### 大型小売店：10ヵ月連続で前年比増

1月の県内大型小売店の販売額（全店舗ベース）は、合計で215億38百万円（前年同月比+4.2%）と10ヵ月連続で前年を上回った。業態別で見ると、百貨店は、衣料品が前年を下回ったことなどから、合計では同△0.7%となった。一方、スーパーは、衣料品、飲食料品がともに前年を上回ったことなどから、合計では同+5.0%となった。



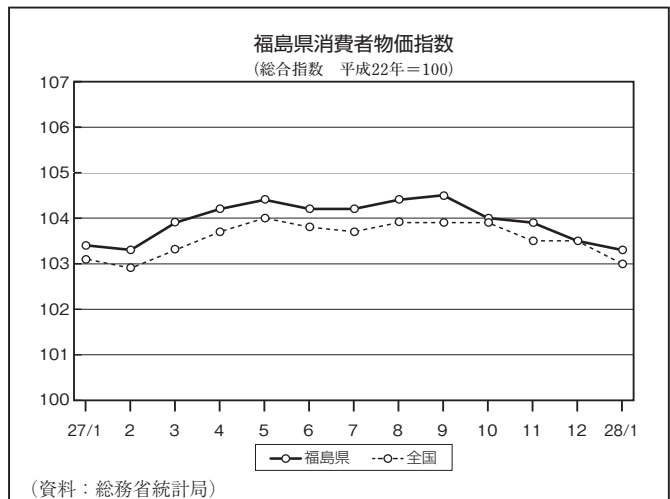
##### 乗用車販売：22ヵ月ぶりで前年比増

1月の乗用車新車登録台数は、合計で6,268台（前年同月比+11.0%）となり、22ヵ月ぶりで前年を上回った。車種別で見ると、小型車が1,544台（同△19.1%）と2ヵ月ぶりで前年を下回ったものの、普通車が2,049台（同+35.3%）と2ヵ月連続、軽乗用車が2,675台（同+20.3%）と13ヵ月ぶりで前年を上回った。



##### 消費者物価指数：前年比、前月比とも下降

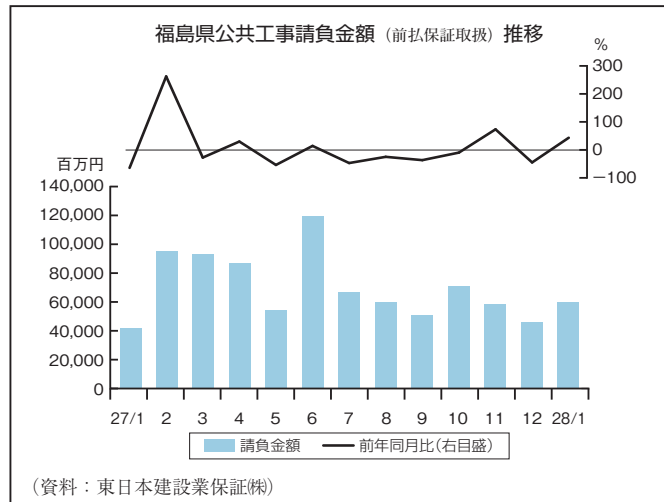
1月の消費者物価指数は、総合指数（福島市、平成22年=100）で見ると、103.3で前月比、前年同月比とも△0.2%となった。費目別に前月比で見ると、「食料」が106.1（前月比+1.3%）など2費目で上昇したものの、「被服・履物」の100.9（同△5.3%）など5費目で下降した。



公共投資

公共工事：請負額は2ヵ月ぶりで前年比増

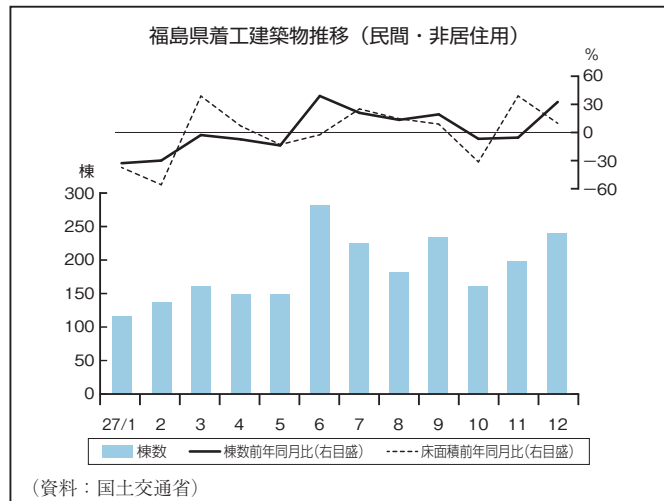
1月の公共工事前払保証取扱は、件数が434件（前年同月比△13.9%）と2ヵ月連続で前年を下回ったものの、保証金額が423億79百万円（同+105.0%）、請負金額が603億73百万円（同+44.2%）と2ヵ月ぶりでいずれも前年を上回った。



設備投資

設備投資：工事費予定額が2ヵ月連続で前年比増

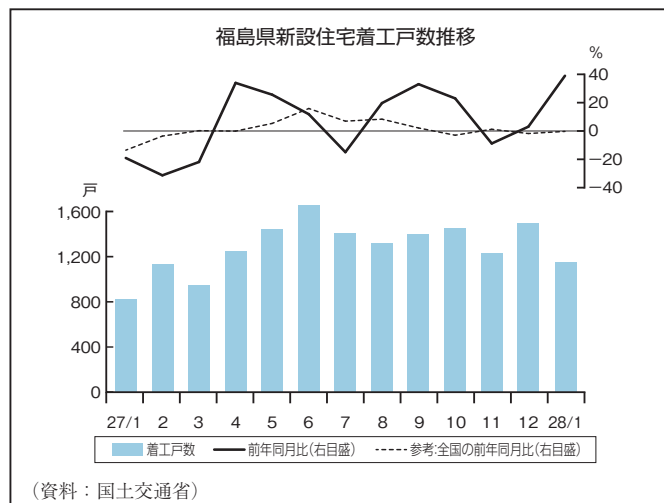
12月の建築着工（民間・非居住用）は、棟数が240棟（前年同月比+31.9%）と2ヵ月ぶり、床面積が77,896㎡（同+9.4%）、工事費予定額が160億25百万円（同+1.5%）と2ヵ月連続でいずれも前年を上回った。



住宅投資

住宅建設：2ヵ月連続で前年比増

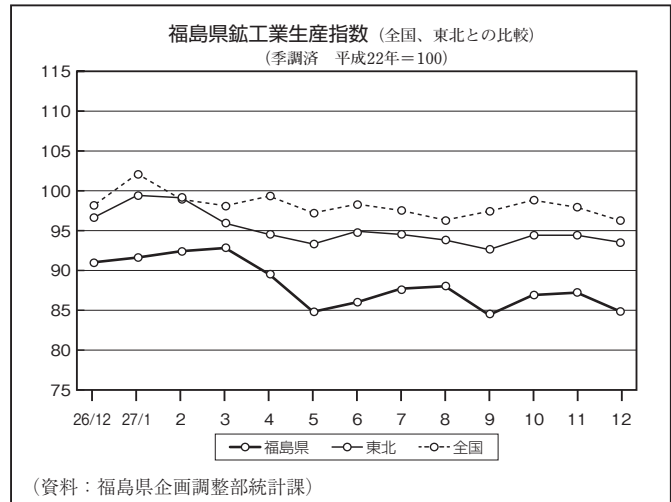
1月の県内新設住宅着工戸数は、1,151戸（前年同月比+39.3%）と2ヵ月連続で前年を上回った。主な利用関係別にみると、「持家」が428戸（同△2.1%）と3ヵ月連続で前年を下回ったものの、「分譲」が84戸（同+104.9%）と5ヵ月連続、「貸家」が638戸（同+84.4%）と2ヵ月連続でそれぞれ前年を上回った。



生産活動

鉱工業生産指数：前年比、前月比とも下降

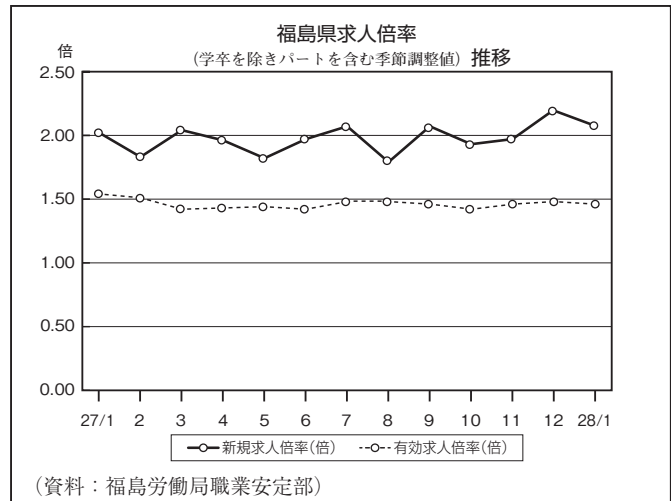
12月の鉱工業生産指数は、84.8（季節調整値）で前月比△2.8%と3ヵ月ぶりで前月を下回るとともに、原指数が87.8で前年比△6.8%と2ヵ月ぶりで前年を下回った。業種別の季節調整値をみると、「食料品・たばこ工業」（前月比+12.1%）など6業種で上昇したが、「繊維工業」（同△19.6%）など13業種で下降した。



雇用動向

雇用動向：雇用保険受給者は前年と変わらず

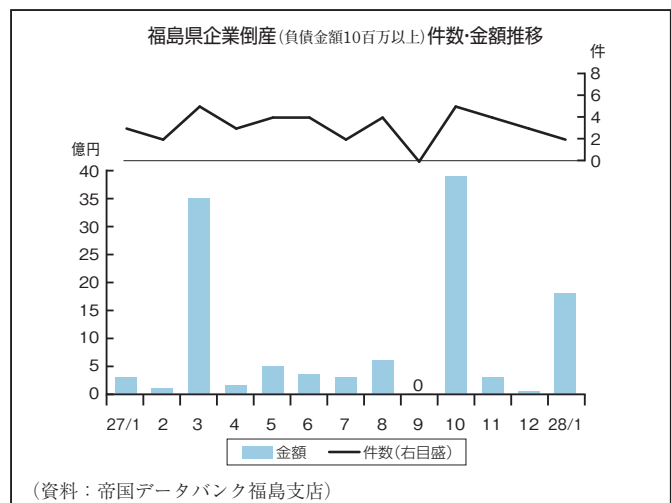
1月の新規求人倍率は、季節調整値が2.08倍（前月比△0.06ポイント）、原数値が1.95倍（前年同月比+0.06ポイント）となった。また、1月の有効求人倍率は、季節調整値が1.46倍（前月比△0.02ポイント）、原数値が1.54倍（前年同月比△0.04ポイント）となった。また、1月の雇用保険受給者実人員は5,767人（前年同月比0.0%）で前年と変わらなかった。



企業倒産

企業倒産：金額は前年比で大きく増加

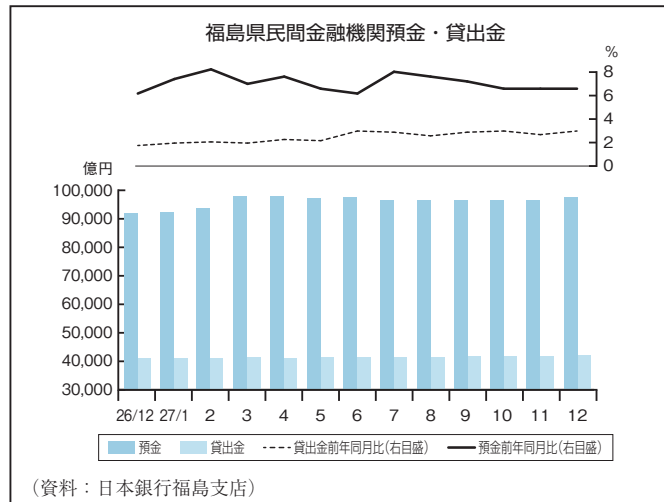
1月の企業倒産（負債金額10百万円以上）は、件数が2件（前年同月比△33.3%）、負債総額が18億44百万円（同+583.0%）となり、件数は前年を下回ったが、負債総額は前年を大きく上回った。業種別では、サービス業が2件となった。



金融動向

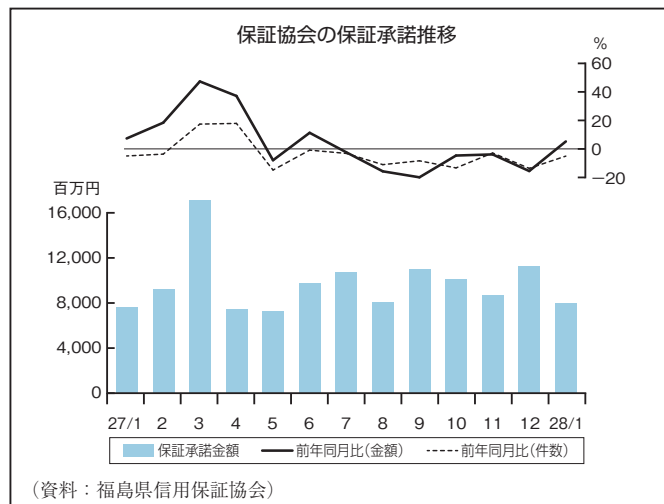
資金需給：預金、貸出金とも前年比で増加

県内金融機関（全国銀行、信用金庫、信用組合の県内店舗分）の12月末の預金残高は、9兆7,836億円（前年同月比+6.4%）と8年10ヵ月連続、貸出金残高は、4兆2,173億円（同+2.9%）と31ヵ月連続で前年を上回った。



保証協会：代位弁済は件数が前年比で大幅増

1月の保証承諾は、件数が603件（前年同月比△5.2%）、保証金額が79億39百万円（同+5.1%）となった。また、1月末日現在の保証債務残高は、件数42,020件（同△7.8%）、金額3,661億90百万円（同△8.8%）となった。一方、1月中の代位弁済は、件数が28件（同+366.7%）、金額が97百万円（同+26.8%）となった。



4. 業種別動向

消費動向

**家電量販店** 1月の家電量販店の売上高は、パソコンが前年を下回ったものの、テレビや洗濯機などが前年を上回ったことから、合計では前年を5%ほど上回った。

**ホームセンター** 1月のホームセンターの売上高は、作業用品などが前年を上回ったものの、医薬品などが前年を下回り、合計ではほぼ前年並みとなった。

**旅行** 12月の旅行取扱額は、国外が前年を下回ったものの、国内が団体を中心に前年を上回ったことか

ら、合計では前年を5%程度上回った。

**高速道路** 1月の県内自動車道出入台数は、合計で4,748,072台（前年同月比+1.7%）と、14ヵ月連続で前年を上回った。路線別にみると、常磐自動車道（いわき勿来IC～山元IC）は1,598,488台（同+8.1%）と23ヵ月連続で前年を上回った。一方、磐越自動車道（磐梯熱海IC～西会津IC）は519,094台（同△3.9%）、磐越自動車道（いわき三和IC～郡山東IC）は344,190台（同△2.0%）、東北自動車道（白河IC～国見IC）は2,286,300台（同△0.6%）と2ヵ月ぶりでそれぞれ前年を下回った。

**福島空港** 1月の福島空港国内定期路線の利用状況は、15,947人（前年同月比△2.9%）と前年を下回っ

た。路線別にみると、札幌便は4,332人（同△33.4%）、大阪便は11,615人（同+17.1%）となった。

（国際定期路線は全便運休）

## 生産活動

**化学** 1月の食品包装フィルム用合成樹脂は、中国向けの供給過剰による影響で、価格が低下していることなどから、合計では前年をやや下回る生産水準となっている。

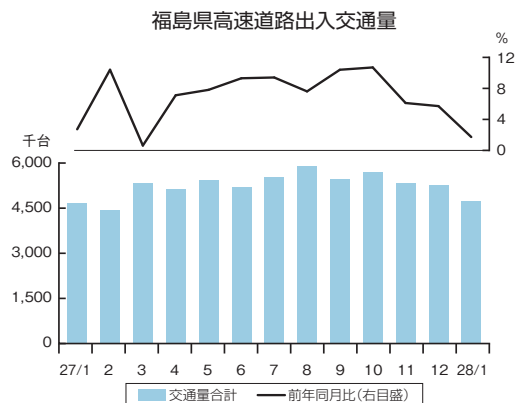
**鉄鋼・金属** 1月の伸銅品の生産は、自動車向け端子材が国内および米国などの国外からの受注が振るわず、前年を5%程度下回る生産水準となった。また、半導体向け電子材は、国内および中国など国外からの受注が減少していることから、前年を40%以上下回る生産となった。1月の建機用鋳造品は、中国からの受注減少が続いていることなどから、前年を50%程度下回る生産となった。陸船用バルブは、海外製品との競合などから、受注量が減少したことから、前年を10%ほど下回る生産となった。

**輸送用機械** 1月の鋳造品は、トラック用では、北米からの受注が堅調なもの、タイやインドネシアなどからの受注が減少しているため、合計では前年を15%程度下回る生産となった。一方、オイルシールは、アジア向けを中心に輸出が伸び悩んでいることなどから、合計では計画を5%程度下回る生産となった。

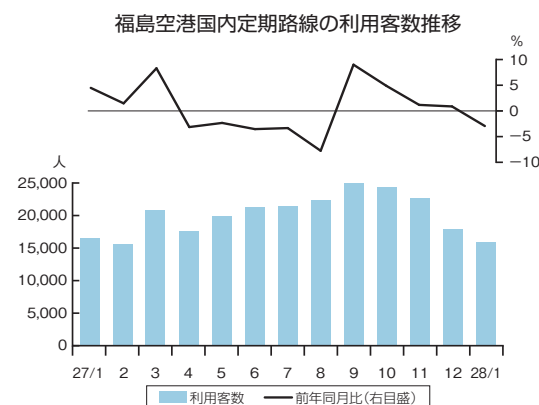
**電気機械** 1月の電気機械の生産は、誘導炉が前年を大きく下回ったものの、変圧器や配電盤が増加したことから、合計では前年を10%近く上回った。

**情報通信機械** 1月の情報通信機械の生産は、国内向けモバイル基地局が前年を上回ったものの、国外向けマイクロ波通信装置（携帯電話の中継局）が前年を下回ったことから、合計では前年を5%以上下回る生産水準となった。

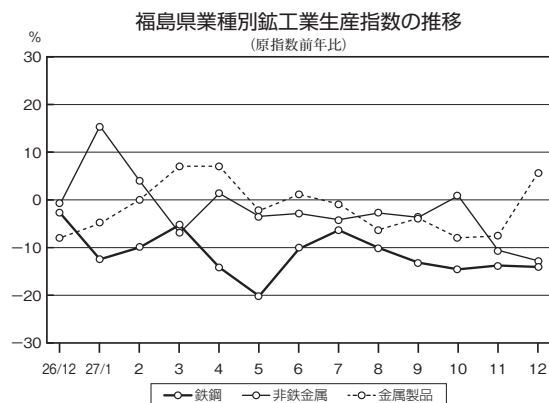
**電子部品・デバイス** 1月のLSI（大規模集積回路）の生産は、前年を45%程度上回った。



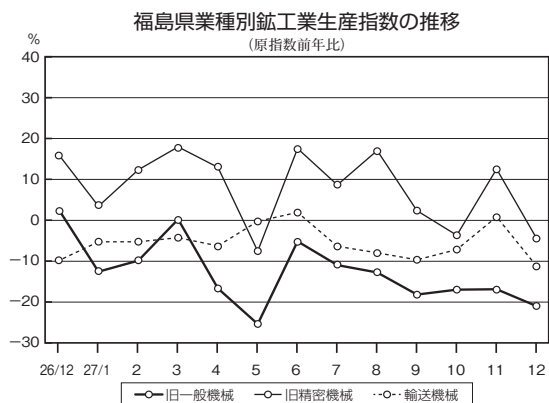
（資料：東日本高速道路(株)東北支社）



（資料：福島県商工労働部空港交流課）



（資料：福島県企画調整部統計課）



（資料：福島県企画調整部統計課）

**精密機械** 1月の医療用内視鏡は、欧米向け高付加価値製品および国内向け新製品の生産が堅調に推移しており、合計では前年を10%ほど上回る生産水準となった。一方、デジタル一眼レフカメラ用レンズは、国外からの受注が伸び悩んでいることから、全体では前年を5%ほど下回る生産となった。

**窯業・土石** 1月の生コンクリート出荷量は、全体で126,052m<sup>3</sup>（前年同月比△2.9%）と4ヵ月ぶりで前年を下回った。民需・官公需別にみると、官公需は県北と相双の2地区が前年を上回り、合計で同+4.9%となった。一方、民需は県中と白河、いわきの3地区が前年を下回ったことから、合計で同△8.1%となった。

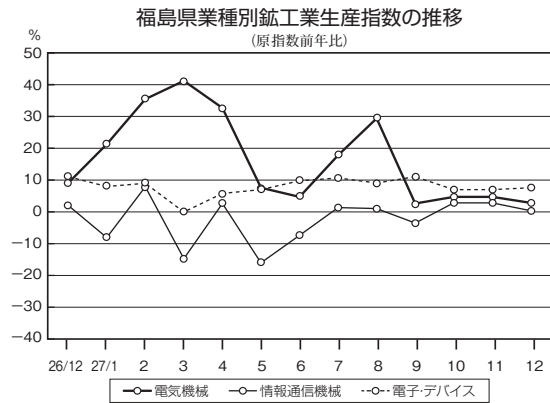
**紙・紙加工品** 1月の製紙は、感熱紙とノーカーボン紙を中心に輸出が伸びたことなどから、合計では前年を15%ほど上回る生産水準となった。

**清酒** 1月の清酒移出数量は、845kl（前年同月比+5.8%）と3ヵ月ぶりで前年を上回った。酒類別では、一般酒（特定名称酒以外の酒）が389kl（同△2.4%）と4ヵ月連続で前年を下回ったが、特定名称酒（吟醸酒・純米酒・本醸造酒）は457kl（同+14.0%）と10ヵ月連続で前年を上回った。

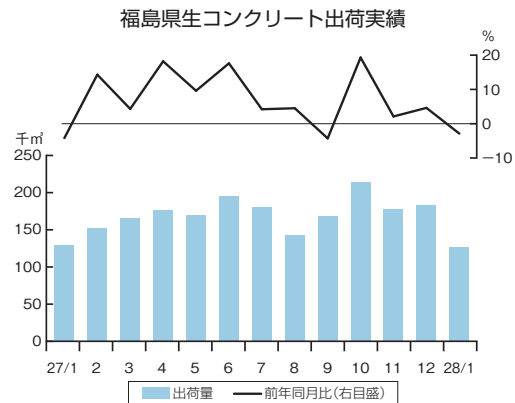
**化合繊維物** 1月の化合繊維物は、生産量が前年を5%以上上回ったものの、単価が低下したことから、生産額は前年をわずかに下回った。

**ニット** 1月のニットは、秋冬物サンプルを中心に安定した受注量を確保しており、ほぼ前年並みの生産水準となった。

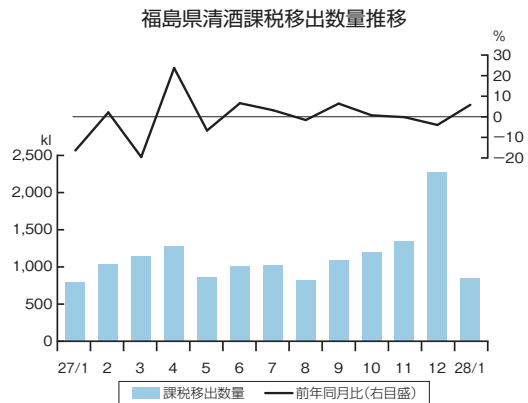
**大口電力** 1月の大口電力販売量は、461百万kWh（前年同月比△4.2%）と6ヵ月連続で前年を下回った。大口主要販売先を業種別にみると、「非鉄金属」で90百万kWh（前年同月比△16.8%）、「電気機械」で76百万kWh（同△2.7%）、「輸送用機械」で49百万kWh（同△5.9%）、「化学」で46百万kWh（同+5.3%）、「一般機械」で24百万kWh（同△4.6%）、「紙・パルプ」で26百万kWh（同+20.7%）となっている。



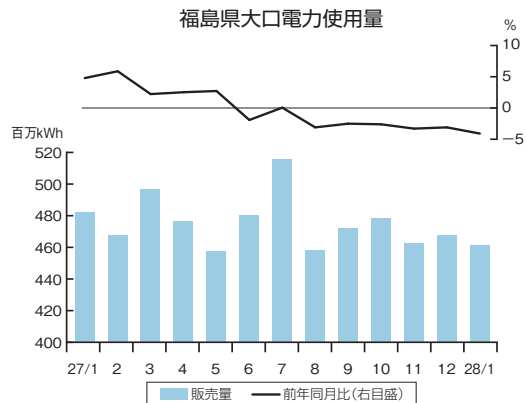
(資料：福島県企画調整部統計課)



(資料：福島県生コンクリート工業組合)



(資料：福島県酒造組合)



(資料：東北電力福島支店)